

安
驥
集
四
十
三

内閣文庫	
番 號	和 24752
冊 數	21 (15)
函 號	154 410

内閣文庫			
函	冊	號	類
五	二	一	和
四	一	五	書

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale

G
Y
M

© Kodak, 2007 TM: Kodak



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

安彊集卷第十三

括書

目錄文庫

一血病

一失血 一風亂 一古血 一牽血 一皮血 一血癰

一柘極皮散 一湯和散

一腸破

一茨蒬散

一敗風散 一血清散

一沈香丹

一白檀睛膜散

一喜以膽散 一三和散

一策謂散

一恒粉散

一止道散 一血癰

一癰瘰散

一蒼木散

一休勞散 一人參苗散

一法肺散

一腸冷散

一血莖散 一肉莖散

一補脾散

一大穉之虫

療治菜

血痛之次第

一血病と云い心よりおろ病心腎支脈以法
後の本と云い心胃ね痛時病あり心腎
そむく時病ねそと法後心と血
病と云い血を多し入て大熱と云い心
血熱併入て病事もろ勝入て病事
も有皮肉入て病事もろそと虚血失血
風乱古血痺血動乱と云いそと八
の血病と云い血虚失血と云い併入り
如ス病

一血虚と云い胃虚心虚と云い或い
と云い一息あり糖菜と味と云い胸腫
熱或い尿と云い小便通せと云い
病換て心乱ねと云い肝足もたえ
一失血と云い心の熱血と云い併入結
と云い小病時茶を飼と云いそと
か指のる心為と云い温茶と云い
換て大事時心乱ありと云い
こ通く病と云い或い傷破と云い毒と云い

又去結と云うはくそく人業と聞かざる病
たん中て瘻をもとに腹を破き死に付た
まじひみされざる之を瘻後よりかざる病
と業いおくると云ふあり

一風乱古血 瘵血ハ瘻よりかざる病

一風乱と云い風病のみされと云い
惡毒血氣は瘻の事には瘻を
ありは肉上風入て血の乃過せさわい
血久変メ惡血と云りかざる病付行瘻

病入て狂亂と云ふ

一古血と云い或い久変打身は血臍ある

治さば年月と云ふかこれ病と云付行
臍入て心亂狂も

一瘵血と云い瘻と云い瘻筋と云い氣滯節

のあそくともて惡い惡治ふせさば血
との治る惡血と云り血虚と云い血さ
まじひは所いおるさか者付いおる
故、あそく病と云い血おる狂病付い依ら

くあり膨死ス志をくくもそ血おさまり
時い又本心と或る積のる、女心慮らるて心
忠ありおげ病と血止とも急或たん中
れ時女ノ血の急是よりんそ冷湯好行
せさあいそ子血を少くして血ささ
まうはをて久安つと然る血かこ
病と或時俄ぞまといふひ或い人死ス急
皆後ノ血病ノ業名末よ志うてそ
一皮血々瘰癧と云い何れ皮肉ノ血

病ノ

一皮血と云いそ死皮肉ノ法あり血と云
書もあくして筋移つてて痛と或時俄
熱身腫る書もそ或い熱身と云あり熱書
もそ熱身腫るといふ腫と云又い記され
そそ俄ううこ大腫もそけい之病ハ何
も皮血の病
一血瘰と云い皮肉不積る血かこ通て保
け腫目かそく或熱身瘰と云

一物血と云ふ久矣紫血と云ふて我は
肉と積り血と云ふもあく久々の
或は是れあく或はあもく糖菓と
疎く之を物血の血と云ふ是の血
病も血と云ふけ療治は血散は事
禁も之を能く病生と云ふ療治は事
者は傳有

一血虚血病者治菓と云ふ
柘榴皮散虚好のる上矣一

源と云ふ一是あはく糖菓と云ふ
於と治は

一柘榴皮下一白米一芍薬一平膝
子師と云ふ一白菓一丁也人散
右細果の如湯とて石の上へ入て交り
日不之交七分て飼

陽和散胸血と云ふて腫
物出ると治す

一白菓一一人参一太黄一地黄一白物

一石見川 芥 右御葉ノ半勝とあるも 潤の
水も之も 一筒ニ種入一夏 七月日小 亥一筒
一失血と云へ上 結之 葉ハ余巻をけ 結子勝
破と云も 又毒と云も 之 勝ヤ少も
有之 毒脱味と 併ヤ 連さ方 何と 治也
扱ハ死

茨菰^コ散^シ法^ノ毒^ト治

一友人一 一夏 一干姜 下一大信子 下一藜莢^下
一麻射^音下 右細葉ノ潤の 水ノ一筒 一種

入一夏 七月 亥 交も 一筒

一風邪ハ 風病ノ 邪病 或ハ 葉と 一筒 風病
ハ 何も 大病ノ 風邪ノ 水ノ 一筒

敗^ク風^ノ散^シ法^ノ毒^ト治

一芍薬^一葉^一 一葉^一胡^一福^一 一活^一葉^一根^一 一干^一姜^一 下
一毒^一脱^一味^一 一桃^一白^一皮^一 右^一細^一葉^一ノ^一舌^一内^一
一筒^一 一三^一種^一入^一 一夏^一 一筒^一 又^一枝^一葉^一 一筒^一
葉^一ノ^一潤^一も^一一^一

血清散古血打方ハ 血と治

考以擔敬癩筋と治す

一芍薬二一三一人参二一三柘榴皮二

一香附子二一三凍皮二一三青皮二一三丁子二

一香白芷二一三縮砂二下三右細末二葉白

皮二葉大三汁二少三一四筒二一三紙入二系三膏

日二小三之四交五之六方七調八人九

一息命丹癩筋と治方別二一三息打葉

一三和散二一人三之四人五と治方二牙関卷三一四

一一人二之三人四之五あ六成七久八の九由十米十一の十二由十三増十四増十五

新調年有人二一三以酒二の三考四大五毒六あり

一芍薬二葉三と考四之五可六調

一皮血皮肉の血病二之三枯四之五別六仰腫七と考

一傷二熱三身四腫五も六る七又八疥九と考十熱十一身十二と考十三一十四

一破二も三有四又五皮腫六と考七一八一九一十一十一一十二一十三一十四一十五一十六一十七一十八一十九一二十一二十一一二十二一二十三一二十四一二十五一二十六一二十七一二十八一二十九一三十一三十一一三十二一三十三一三十四一三十五一三十六一三十七一三十八一三十九一四十一四十一一四十二一四十三一四十四一四十五一四十六一四十七一四十八一四十九一五十一五十一一五十二一五十三一五十四一五十五一五十六一五十七一五十八一五十九一六十一六十一一六十二一六十三一六十四一六十五一六十六一六十七一六十八一六十九一七十一七十一一七十二一七十三一七十四一七十五一七十六一七十七一七十八一七十九一八十一八十一一八十二一八十三一八十四一八十五一八十六一八十七一八十八一八十九一九十一九十一一九十二一九十三一九十四一九十五一九十六一九十七一九十八一九十九一百

一考二中三に四より五癩六治七を八加九減十を十一考十二

紫翹二散三別四仰腫五熱六身七腫八治九

一芍薬二一三一人参二一三干姜二下三

一白朮二下三右細末二芍薬三葉四を五計六考七

酒四入枝葉と七銚うきまき也皆同水入
入外冷包一

粉散皮血うき熱身と云り

う中かろくと治す

一白檀多一白物十六錢一あせ人菜二下天葵二下

一人参二下一丁子二下一胡椒九粒一トリス二下

一白茅多一古細葉又丙少一石向二銚入一

交、大筒より二交、了同熱血と新水入

冷入包一付葉二一粒類一五人七三一粒

実少多ノ強く付人

一疥癩治事おほよりひ葉と云り

おの肉葉と同一七方色て底床と煮又

塩入熱身と洗包一

止道散記をれ候うり一之腫可

治す

一かへん皮多一桔梗二下一三平気多一芍

薬二多一平通散二多一白物十銚一底床

多一古細葉又葉白皮と煮又一筒一紙

鼻血法肺散鼻血肺血熱依

冊^下とち^下と活^下

一麦の冬^下一糸白皮^下一白檀^下一虎

皮の馬^下一芍薬^下一柘^下一柘^下一不

た人^下一芍薬^下一芍^下一入^下一芍^下一

あ^下一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下

一血陽^下一血^下一血^下一血^下一血^下

お^下一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下

腸冷散血陽^下一病^下一活^下

一活^下一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下

白皮^下一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下

一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下

一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下

一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下

血熱散

一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下

一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下

一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下一芍^下

一芍薬一錢五分一七寸皮一果一木香
各下一石見川一平錢

内書散血藥之法

一少くはく一香白芷一丁子一干姜
一良姜一木子一水交一芍薬
一茯苓一人参右細末
芍薬と藥入を汁を一筒一錢入一厚
小筒は小一交七方一筒

補脾散血藥之法

一厚朴一干姜一干姜一芍薬
一牛膝一信砂一芍薬一白芍
一干麻一人参右細末
芍薬と藥入を汁を一筒一錢入一厚
小筒は小一交七方一筒

一犬腸一虫の井一虫も血通一虫
一虫一虫の血一虫有一虫
一虫一虫の血一虫食一虫
一虫一虫の血一虫食一虫
一虫一虫の血一虫食一虫

へておのまじき 気血病 扱へはらうかき
 熱身汗とらき 乱病とて 死すやれり
 脈とん多て 同さうとく いとふあき業と
 の 固結と 爲る色 一 菜の 一 徳の 以下
 一 白檀 一 下 一 家り 一 桃 白皮 一 文
 右 細葉 一 下 一 四 一 毒 脱 味 四 一 一 合
 て 潤 の 水 汁 此 梳 可 之 の へ て あり 業
 と 七 鈔 の 固

安鑿集卷第百十回 極書 目錄

一 裁木 教 一 下 香 教 一 木 仁 教 一 和 版 教
 一 三 補 教 一 一 冷 教 一 二 通 教 一 火 次 教
 一 血 信 教 一 和 六 教 一 大 勢 大 多 病 業 加 減 豆
 一 五 色 一 番 異 一 法 勝 法 勝 一 大 一 時 付 法 勝
 扁 身 通 用 付 五 文 一 次 才

裁木教

一 裁木 一 一 五 信 子 一 一 心 茨 菰 一 一 殊 麻
 一 平 通 教 一 一 良 姜 一 一 南 飯 者 一 一 七 程 七

纏メ病氣よりて何人

一法此書より多量熱丸、桃白皮とあり

一省二入、夏、秋、冬、何人

一寸白あり、苗者とあり、何換用あり

一尿結とあり、酒とあり、何換用あり

正て何換用あり

丁書教

一丁書、夏、一本者、一縮砂、一枯梗、一凍皮

一平通、夏、冬、何換用あり、冬

之持の要寸白とあり、何換用あり

一冬、此書より胡、一換用あり、酒あり、何換用あり

一増、少加、一省、一入、夏、秋、冬、何換用あり

一冬

一寸白とあり、何換用あり、苗者とあり、何換用あり

て何換用あり

一本、此書、膀胱とあり、何換用あり、何換用あり

白米とあり、何換用あり、何換用あり

本、此書、何換用あり

一本爪一牽牛子一射干
一茯苓一活萎粉
右合葉之病氣より
了局

一上結ハ一桃白皮一毒檢一牛膝ハ一干姜一
一省ハ一木入ハ一夏ハ一省ハ一川ハ一
一中結ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
一ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
季の端ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一

和版教

一本ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
一石川ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
一ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
一ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
一ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
一ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
一ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
一ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
一ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
一ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一
一ハ一ハ一ハ一ハ一ハ一

一 下冷一寸白さうとぬき申あふの苗老の葉
 一 腎上入一入一入七角形毎七方角へ
 一 梨り又結一病のり棄てさうと一桃白皮
 一 楊梅皮乞とあつて銅換同あ
 一 老る梨りぬき申あふの丸を此粥之煮は葉
 一 七角形紀変て朝正と七方角へ
 一 打身久変ぬ脾胃といふに梨りぬき
 一 あふの一芍薬一福砂一土あけひ乞とあ
 一 銅換同あ

三編散

一 凍皮一去皮一厚朴一平過散一桃
 一 白皮一葉白皮を煮る合葉の病氣よりて扇
 一 腎虚熱を治す下冷といふも酒より一箇上
 一 入一入一入五箇厚く同へ
 一 治の筋病を治す勝治勝を治す冷といふ
 一 酒より銅換同あ
 一 中風を治す白皮とあつて一箇一入一入
 一 一箇一入一入七方角へ

一寸白朮を抄く病あり痛身ひくして
入る海王一箇一入る夏は胃に夏
朝夕各一箇

一曲多しえ牙此法はきりやせおろし井
あふ葉の本とあま酒中分合て一箇
不入夏二箇日二夏朝毎分一箇

以冷散法ノ熱病用

一夫黄一黄考一黄連一活葉粉 在る後
亦有合葉ノ病氣ノ上ノ一箇

一上中下代 諸子ノ一混也 一箇一入る夏
九箇一箇

一五麻丸の麻結ぶ生さころりてありて
のてそ汁をそ一箇一入る夏或は
もるよりて一箇

一揺病いせく水のおろそ一箇一入る夏
七箇分一箇一痛身と冷井一箇
一徳の悪瘧腫物に付下とあまノ一箇
二回散腎膀胱と補

一山菜一兔絲子一五味子一枳殼一五皮散
一平通散一石見川の薬名多食薬病
氣引て効へ一

一腎虚といひも酒を之一尚不入る小

一腎肉毎一七方効へ一

一下冷一寸白い尚多と薬又効掛目

一下冷一痢病氣引て一宜の時多

効掛目

火冷散

一活薬料一苜蓿一苜蓿一平通散

一苜蓿食薬今病氣引て効へ一

一腎虚熱一或は腰痛来結下筋事大

多す小存哉故一車あ子と薬又効

湯中分合て一汁を之一尚不入

一夏一尚射毎一七方効へ一

一強血熱一之具脈急あり一謂之効掛目

血倍散

一綿砂一良姜一當歸若多一五倍子一干姜

魚下 一葉白皮 一石見川 霏粉 各二升 合葉
大病 氣 占りて 飼へ

一血筋 洗ひて やせ 取て 熱る 以て
少く さらせし せし 中 井も ちく ちく
ろ 中 井ある 一 根 殻 一 厚 朴 之 根
煮て 一 筒 一 入 一 交 之 筒 日 一 交 あり

と 以て 方 飼へ

一血 根 引 出 せ 一 煮 食 根 味 或 以 冷

中 井 一 入 又 心 の 血 引 出 持 ち 中

あつ 良 姜 と 煮 入 汁 一 筒 一 入
一 入 一 交 一 筒 日 一 交 粉 每 一 筒 一 入

和 六 散 六 勝 神

一 桔 梗 一 筒 煮 一 五 倍 子 煮 一 良 姜 一 兩 一

一 煮 皮 煮 一 石 見 川 の 霏 粉 一 平 田 粉 各

一 合 葉 入 病 氣 占りて 飼へ

一 煮 物 煮 一 煮 一 煮 一 煮 一 煮 一 煮

一 煮 一 煮 一 煮 一 煮 一 煮 一 煮

一 煮 一 煮 一 煮 一 煮 一 煮 一 煮

一六腑虚一虫折くさうかひをすり
て酒をそ一肖一糸入つて交む肖日三度
物とに一方飼へ

一此の虫と桃白皮と交り又飼後同
他をこれ法あり酒を之飼へ

一此麻丸の尿結冷麻あり酒を之昆布
洗をけりそ一肖一糸入つて交む肖一飼

一大多々大熱病と茶を加減

一又多々大熱病と茶を加減

一曰大熱病大多々茶と合むる中あり
為るは佐君臣三人の甲しより合
むる一之趣い或い上結或い熱
大熱病并して脈大浮ありと大茶
と一不し合むるを皮熱と一腑へは
不道下冷まうり上腑を皮熱とま
多病も又めけりとの三腑の熱
君臣の大茶茶合一或い干姜未
根合はれり南熱とをれは皮熱

外入をとり干姜ハ人食別天撰
馬鈴外ハ冷ニ取リ大撰別冷一治
又云大寒病も徳の温物茶越合一
或ハ活葉粉を主物と合して是
より外治と相商ハ之を類同也

五五二 薑蕪次牙

一 薑蕪切上げお煎を凡人を療葉
とあせい百葉上おろしを以て病苦者
越脱

一 薑蕪とスルハ時を以て治す
ハ物の急カクハ必効病の序ニ此
時ハ効病の本葉とあく之或ハ効効
と云一ハ効肺効と云一効一云
ハ効と云せい外治又云其外内去葉
越食一スルハ薑蕪ハ外を以て治す
ハ効肺大腸もろくハ効食消也
ハ効是もを甲し上下りて療葉同也
一 薑蕪とスルハ時を以て治す

海い脾胃の志ありて中虫の序にめけ
の海い脾胃小門と名しき平胃散
起して脾胃と補は海の茶枝飼ぬ
進い脱く

一ありてら養共と入進い赤く志もこれ
てとありて三進命の撰一弦る序
多の海い或い冷補散事法胃厚散
お枝飼ぬありて年養共れらとあり
さるりめけと療治されい之結と

煎事ありてとやありて新ひやうふ
しと法也

一ありてら養共と入進い白くありてやうに
是の法務法務虚と痢病の序に云々
此書寸白切井もろく一是も法務法
併補と茶枝飼又山薬と名と合て飲食
よ合て是の飼く事門とさう一お養とあり
うら下玉と子服と名と進いあり
ありてら養共と入らと志く志もあり

中腎時腕虚力て或は痿来結成
下腎固脈の序之乎此付は或は腎乃
猪菜或は下浮菽と固七亦と煮一氣
も煮之山菜と細菜メ飲食上合て銅匙

五勝六勝宜可申し次第

一肝勝は右ノ外そより青王右ノ八
九日ノ外竹支一斤十二支之氣樹上とも
てさへせし肝勝

一心勝は右ノ中治外左ノ通そより赤

重年一斤八支之種為之勝小勝

一脾勝は右ノ外そより之若之口土用王分入

凡六七日宿入重年一斤十八支之種

一肺勝は右ノ外そより白皇秋王凡八脊

上あり重年二斤四支勝大勝之種金

一腎勝は右ノ下重年の上ノ外そより

冬王重年一斤二支之種あり

徳勝は身通用之次第

一肝勝は上頸た鶴職た凡六日あり

九通背に付て針灸たげおとすと
乞とひせし

一 心勝胸左ノ新猷ハシより左のお足九たぐ

上小通

一 脾勝右ノ版中背骨より下後左ノ版

下通通

一 肺勝右ノ頭肩足三ノ月骨さく左

右ノ鼻より通

一 腎勝腹より下右通左ノ版肢通

一 肝勝額筋筋通

一 心勝舌血毛に通

一 脾勝唇肉乳に通

一 肺勝鼻皮息に通

一 腎勝耳骨歯に通

勝歟之次第

一 肝勝固形少長

一 心勝三角骨ノ懐上下長

一 脾勝口角通

一 肺脹半月、其舌下三角
一 腎臟圓形、疲膏背、定時

安強錄卷第五 按書 目錄

一 諸病者本草之事 一 瘰癧病、朽菜

一 亂病、法菜 一 諸病、以季、飢計、下補散

一 黃耆、血法散 一 麻、實、法、氣、散

諸病者本草之事

一 結子、以毒、反、大、黃、と、本、草、と、其、結、冬、ハ、草

牛子と本草とス

一 七、去、光、り、胡、六、ノ、一、凍、と、大、毒、と、危、く、以

一 尿、結、ゆ、季、丸、能、お、淋、さ、向、く、の、病、氣、本

東にらるしもの干姜とてあるす治す

一内腫之腫丸とて治すとて分也是葉とて教
乞と治せし

一瘰十二瘰八腫丸とて治す
一石胆眼病黄芩本草とて治す
一茶とて治す

一大小瘰とて治す

一強ノ糖跡とて治す

一牙固我事とて治す

一味とて治す

一強ノ平原とて治す

一強ノ痢病とて治す

一強ノ打牙をとて治す

一勝肉腫とて治す

一而是病とて治す

乞と治せし

一而此風病とて治す

一治結子とて治す

一 撞病 活毒根と治す

一 六毒 食らるるよハ山茨菰と治す

一 強の上 美名病 短病 杖梗と治す

一 向治す

一 利安 踏拔 踏打 起す 豆の病と松の

縁少く治す

一 七症 心季と文分 苗名と治す

一 癩筋 毒と初中 故杖 菊黄ノ一 味と

一 外治す

一 吐厥 吐血 吐風 起す 徳の吐 病ハ世に種乃

一 味と治す

一 瘰癧 病と打菜と事

一 活毒 根一 毒根一 村子 各名と 合葉と

一 疔子の 毒が 刺す 洞の 土と 茎の 汁と 之の 一 筒

一 瘰癧 入る 夏 七 筒 日 上 之 夏 度 之 一 筒 葉 同 之

一 之 是 せ り 方 下 一 瘰癧 之

一 乱病 活毒 一 事 活毒 杖梗 血 乱 本 心

一 之 之 ち ち ち 物 分 け 事 時 同 之

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

徳之病室季ノ飼汁

一 徳之病室季ノ飼汁

一 角へ一 夏之月ハ酒の水をそへて厨秋冬ハ
漏るを角へ一 冬之月半了はらく契
斜あやふりうとくたふの茎の汁かきか
加へ角へ一

一 虫後毒之月ハ角と扱てぬ湯をそへて
て角へ一 從初毒風水形人毒此虫を
らハ枝胡之と酒をそのへてそ汁をそへ
のとも角へ一 夏之月ハ

一 桃白皮一 若毒之とあまメ角へ一 秋ハ
若毒之と毒を桃白皮そへあまメ角へ一 冬ハ
毒の虫を酒を角へ一 息脈大治
版が少連虫のり下炊胡之と扱へ
せらあの水をそへて角

一 尿管毒之月ハ毒膏をそへ角へ一 夏之月ハ
梅干角と扱へ冷水をそへてこ厨秋之
月ハ夕白河之とあまメ角をそへ角
あそ角へ一

一 肉腫之治丸毒之月ハ酒を角へ一 夏

二月八日牛膝と招酒と之のへての飼秋之
月八日塩魚と煮て飼へて三月八日蘇酒
と飼へて

一 瘰癧物と煮て飼へて酒飲と以て煮て
月勢の瘰癧と社牛と煮て飼へて夏
之月勢の瘰癧と桔梗芍薬と煮て飼へて
のとく飼へて秋三月八日牛膝大牛
膝苗と煮て飼へて汁と飼へて
冬之日牛膝酒と煮て飼へて煮て飼へて
乃と飼へて

一 而眼病と煮て飼へて汁と飼へて
飼へて一 煉乳と煮て飼へて汁と飼へて
一 大小瘰癧と煮て飼へて汁と飼へて
夏に桔梗と煮て飼へて汁と飼へて
猪脂と煮て飼へて
一 八月九日の食と煮て飼へて汁と飼へて
その汁と飼へて飼へて汁と飼へて汁
と飼へて飼へて飼へて飼へて飼へて

万石の酒のおとらきくそく飲一樽冬
忌冬とあま牛膝と招てらき合そ
汁を飲へ

一 牙関の虎のこもる生とあまの
又冬とあま毒服味ととりてらき合そ
の厨林冬は皮とあま折合厨
一 徳の厚るそとあま川骨とあま
垣ととりてらき合そと招てら
秋冬とあま汁と水と招てら
少そ厨

一 痢病の冬とあま桑皮板皮とあま
の厨林冬と冷水とそとの粉とそ
汁を飲へ

一 折身とあま木通とあま汁を
の厨林冬とあま汁を
飲へ

一 猪肉の冬とあま昆布とあま汁を
飲へ

一 冬に風を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

扇

一 扇は病を治るる者なる扇

扇

一 扇は病を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

一 扇は病を治るる者なる扇

扇

秋多ハ紫梗白木糖板とあまの厨

下痢散

一六黄一白米一荒糸子一山菜一陳皮
一厚朴一蓬莪朮各五分一桑白皮一大
版皮各五分一石見川煎一五分下合葉ノ病
氣ニ引りて厨

一臨寸白一冷一炒一苗若と酒之
煮メ汁之厨ニ錢入一五七厨
一腎虚ハ心ノもとあつて味子と煮
汁之を立て厨上錢入一五七厨

一夏秋每七方厨
一冷一虫切事御一白米一川芎

一楊梅皮乾とあま一厨一錢入一五七
厨上一夏秋每七方厨

一下痢ハあく虚ハ虫版志けく一白米
荒糸子と酒之煮メ汁之厨
一錢入一五七厨

一冷一熱之あけ之上黄一入

物起とあまを汁とて下
下冷ノ有る物契え人あけ喉とれ息
分つけと見えぬ核板とあまを汁と
一筒一錢入て交々下筒と下
冷一契え切腫物胸流と下筒と汁と
同計とて作上

黄耆血活散

一黄耆二錢 一南星一兩 一藜蘆一蓋 一益母一兩 附
子一沈者 一乳香一錢 一麒麟一兩 一玉香

一石炭川後之 合葉ノ 病氣を 下りて下筒
一血と証事一生 後中血満て食と疎
息急メ 志も 汗を 契一 下筒とて
下筒

一勅勞れ血にりてそのも息又少契一
食と疎なり 下筒とて下筒の土とて下筒
下筒とて下筒一錢入て交々下筒と下筒
一打身の 血満一筒とて下筒と下筒
下筒とて下筒一筒とて下筒と下筒

燻あく茎汁をそよみ出さず今て膏
二錢入る夏に膏日見し夏に膏の固
一心ノ血乱れ心乱癆効治し膏と心氣
そ血終る中雨に治せしは中雨の葉
白皮と若人二箇一錢入る夏に膏日見し一
交新毎七の固人

麻実法氣散

一麻実五子一牛膝一淫石一葉日皮一楮枝
一老薑一青白芷一當歸各五子一貫川椒

一散葉を粉一平通散各五子 合葉ノ病氣

二とありての固

一結子虫版尿管結久変効治すと心先或い
食を定心と事やうありて心氣おもしろい
かのみそ活葉根とくささきそ汁を汁えん一
箇一錢入る夏に膏日見し一交新毎七の
固人

一内難久変効首の内と痛上を葉一食
為取おもしろい牛膝ととりそ汁

一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内
一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内

一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内
一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内

一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内
一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内

一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内
一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内

一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内

一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内
一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内

一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内
一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内

一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内
一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内

一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内
一 足の内 一 膝入 一 足の内 一 足の内 一 足の内

錢入一夏、右肩は小一夏、側へ――

一法の打身、毎日の所へ土、あけ、むと、夢

一肩より、錢入一夏、七角、右、毎、七、角、の、側

一腰、肉、腫、ま、い、夜、苦、あ、と、あ、く、メ、肩、一、錢、入

一夏、右、肩、は、上、一、夏、右、毎、七、角、側、へ――

一初、是、病、一、切、風、病、上、半、孫、と、あ、く、メ

一側、換、回、前、他、是、陽、是、風、上、半、是、葉

一は、皮、と、あ、く、メ、一、肩、上、錢、入、一、夏、右、肩、は、上

一夏、右、毎、七、角、側、へ――

一徳、毒、食、ら、り、少、小、橋、也、と、あ、く、メ、一、角、上

一錢、入、一、夏、七、角、右、側、へ、一、側、他、橋、也、と、あ、く、メ

あ、り、一、夏、右、側、へ





